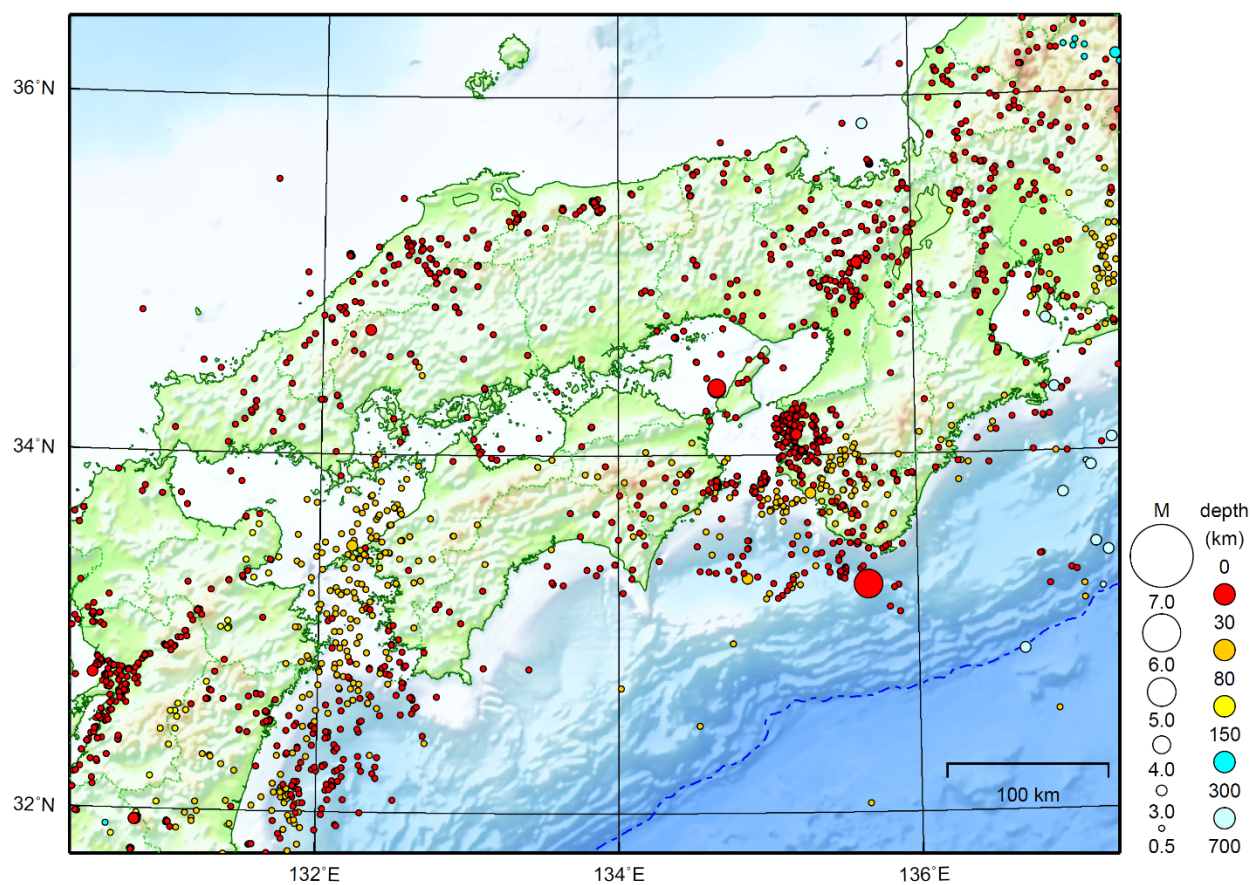


近畿・中国・四国地方

2021/11/01 00:00 ~ 2021/11/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

(上記期間外)

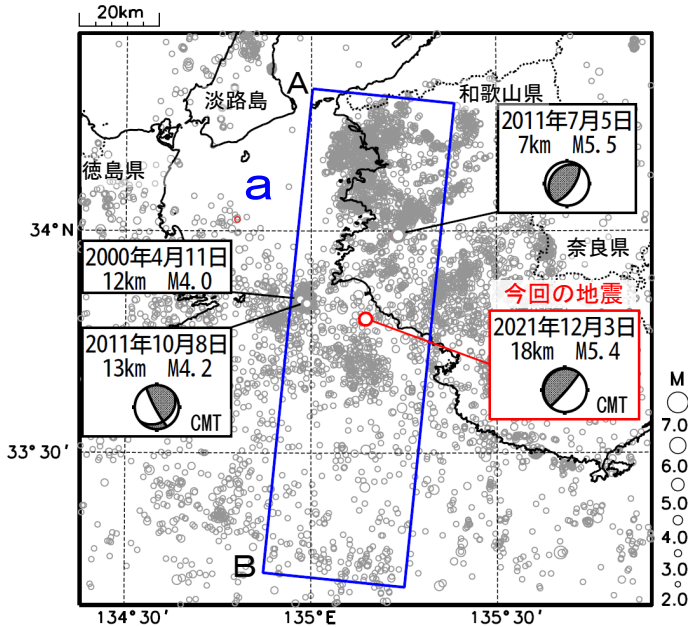
12月3日に紀伊水道で M5.4 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

12月3日 紀伊水道の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2021年12月5日、
深さ0～60km、 $M \geq 2.0$)
2021年12月の地震を赤色で表示

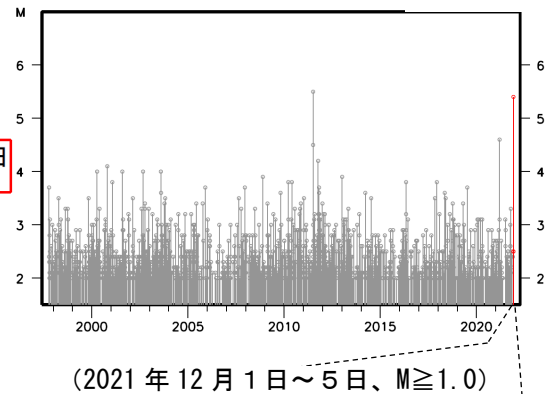


2021年12月3日09時28分に紀伊水道の深さ18kmで $M5.4$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、地殻内で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、軽傷者5人、住家一部破損2棟などの被害が生じた(12月6日現在、総務省消防庁による)。

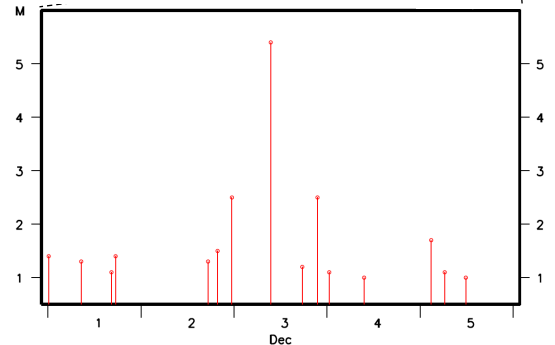
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M4.0$ 程度の地震が時々発生している。また、2011年7月5日に発生した和歌山県北部の地震($M5.5$ 、最大震度5強)では、住家一部破損21棟などの被害が生じた。

1919年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年～1962年に $M6.0$ 以上の地震が時々発生していた。このうち、1948年6月15日に発生した $M6.7$ の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

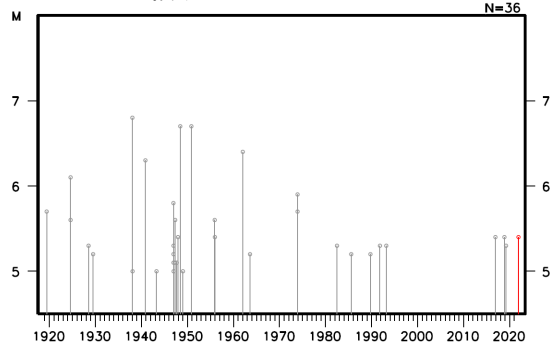
領域b内のM-T図



(2021年12月1日～5日、 $M \geq 1.0$)



領域c内のM-T図



気象庁作成

震央分布図
(1919年1月1日～2021年12月5日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2021年12月の地震を赤色で表示

